



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 田中商事株式会社

コード番号 7619 URL <http://www.tanakashoi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥谷部 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長兼
経営企画室長 (氏名) 春日 国敏

TEL 03-3765-5211

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,060	3.3	453	△5.0	455	△4.3	317	1.9
27年3月期第2四半期	12,637	9.3	477	35.6	475	37.2	311	66.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 319百万円 (△7.7%) 27年3月期第2四半期 346百万円 (80.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	36.06	—
27年3月期第2四半期	35.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,468		9,502			46.4
27年3月期	22,924		9,315			40.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,502百万円 27年3月期 9,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
28年3月期	—	10.00			
28年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,620	10.8	1,635	35.4	1,624	35.5	812	11.0	92.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,832,000 株	27年3月期	8,832,000 株
28年3月期2Q	23,846 株	27年3月期	23,846 株
28年3月期2Q	8,808,154 株	27年3月期2Q	8,808,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に企業収益の向上や雇用情勢の回復など改善の兆しが見られるものの、中国をはじめとした海外経済の下振れ懸念等から、景気回復の期待感ほどの需要は見られませんでした。

当社グループの属する建設関連業界におきましては、物件の見積りや引き合いの増加、新設住宅着工戸数等が緩やかに持ち直しの動きが見られる等、期待感が高まっているものの需要自体は微増にとどまり、加えて世界経済の不安感から資源価格の高騰等により需要獲得の競争が激しく収益環境は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、平成27年6月に大阪市淀川区に大阪営業所を開設し、関西地区の強化を図ってまいりました。既存営業所においては、同業内屈指の広域営業ネットワーク網を活用した積極的な物件受注活動を行う等地域シェアの拡大、得意先基盤の拡充を行い需要の創造と獲得を図ってまいりました。また、太陽光発電設備を初めとする、環境関連商材の動きは堅調に推移したことことから、需要の取りこぼしの無いよう努めて参りました。

子会社の株式会社木村電気工業におきましては、企業グループ間の連携により主力商品の販路の拡大等、売上高向上に尽力してまいりました。

この結果、売上高は13,060,211千円（前年同四半期比103.3%）となりました。利益面におきましては、営業利益453,817千円（前年同四半期比95.0%）、経常利益455,158千円（前年同四半期比95.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益317,665千円（前年同四半期比101.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,455,617千円減少し、20,468,579千円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,568,513千円減少し、9,420,733千円となりました。

固定資産は、新設営業所の建物取得等により、前連結会計年度末に比べ112,895千円増加し、11,047,846千円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,693,558千円減少し、9,739,842千円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ50,521千円減少し、1,225,805千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ187,419千円増加し、9,502,931千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ16,314千円増加し、1,119,089千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、仕入債務の減少等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等により1,638,061千円（前年同期に得られた資金は1,267,760千円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、新設営業所の建物取得に伴う支出等により146,026千円（前年同期に使用した資金は414,203千円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、借入金の返済、配当金の支払い等により1,475,720千円（前年同期に使用した資金は851,971千円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では平成27年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,102,775	1,119,089
受取手形及び売掛金	9,149,773	6,876,022
商品及び製品	1,502,045	1,216,733
仕掛品	471	1,652
原材料及び貯蔵品	26,654	25,030
繰延税金資産	116,333	108,570
その他	132,045	104,100
貸倒引当金	△40,853	△30,466
流動資産合計	11,989,247	9,420,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,915,845	3,057,243
土地	6,969,348	6,954,155
その他(純額)	247,634	194,947
有形固定資産合計	10,132,828	10,206,346
無形固定資産		
借地権	183,254	183,254
その他	25,612	49,682
無形固定資産合計	208,867	232,937
投資その他の資産		
繰延税金資産	375,139	395,913
その他	362,343	367,846
貸倒引当金	△144,228	△155,198
投資その他の資産合計	593,254	608,561
固定資産合計	10,934,950	11,047,846
資産合計	22,924,197	20,468,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,517,436	3,398,442
短期借入金	6,930,000	5,590,000
未払法人税等	314,628	177,116
賞与引当金	150,137	174,837
その他	521,199	399,444
流動負債合計	12,433,401	9,739,842
固定負債		
退職給付に係る負債	1,107,189	1,141,397
役員退職慰労引当金	35,100	39,246
その他	32,994	45,162
固定負債合計	1,175,283	1,225,805
負債合計	13,608,684	10,965,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,073,200	1,073,200
資本剰余金	951,153	951,153
利益剰余金	7,304,075	7,489,619
自己株式	△13,747	△13,747
株主資本合計	9,314,682	9,500,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,366	30,517
退職給付に係る調整累計額	△31,536	△27,811
その他の包括利益累計額合計	830	2,705
純資産合計	9,315,512	9,502,931
負債純資産合計	22,924,197	20,468,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	12,637,955	13,060,211
売上原価	10,525,235	10,935,944
売上総利益	2,112,720	2,124,266
販売費及び一般管理費	1,634,871	1,670,449
営業利益	477,848	453,817
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	4,685	4,867
その他	6,129	8,051
営業外収益合計	10,836	12,939
営業外費用		
支払利息	13,321	11,599
営業外費用合計	13,321	11,599
経常利益	475,364	455,158
特別利益		
固定資産売却益	8,038	16,847
特別利益合計	8,038	16,847
特別損失		
固定資産除却損	—	2,448
固定資産売却損	18	6
特別損失合計	18	2,454
税金等調整前四半期純利益	483,384	469,550
法人税、住民税及び事業税	181,010	165,763
法人税等調整額	△9,266	△13,878
法人税等合計	171,743	151,884
四半期純利益	311,640	317,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,640	317,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	311,640	317,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	334	△1,849
退職給付に係る調整額	34,131	3,724
その他の包括利益合計	34,465	1,875
四半期包括利益	346,105	319,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,105	319,541
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	483,384	469,550
減価償却費	123,473	114,613
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,066	583
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,890	24,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	60,690	39,737
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,096	4,146
受取利息及び受取配当金	△4,706	△4,888
支払利息	13,321	11,599
固定資産除売却損益 (△は益)	△7,789	△14,133
売上債権の増減額 (△は増加)	1,746,088	2,262,901
たな卸資産の増減額 (△は増加)	128,826	285,754
差入保証金の増減額 (△は増加)	△650	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,680	△4,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	△996,244	△1,086,260
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,937	△9,632
未払消費税等の増減額 (△は減少)	91,496	△151,470
小計	1,603,410	1,942,373
利息及び配当金の受取額	4,706	4,888
利息の支払額	△13,337	△11,602
法人税等の支払額	△327,018	△297,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,267,760	1,638,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△423,449	△179,621
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,610	32,050
貸付けによる支出	△137	△200
貸付金の回収による収入	488	236
その他の支出	△736	△513
その他の収入	1,021	2,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414,203	△146,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△750,000	△1,340,000
リース債務の返済による支出	△12,423	△3,855
配当金の支払額	△89,548	△131,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	△851,971	△1,475,720
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,585	16,314
現金及び現金同等物の期首残高	972,696	1,102,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	974,281	1,119,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。